

<週報No. 2,904> 3,015 回例会

2019年11月29日(金)

◆会長/玉本 広人 ◆副幹事/小口 泰幸

◆司会=八幡一成SAA

◆ゲストビジター=本日はいらっしゃいません。

◆出席報告

本日	58.33%	20名欠席
前回訂正	79.17%	10名欠席

◆ラッキーナンバー=No.27 森幸俊君

◆ニコニコボックス=●玉本広人君=本日三役席が寂しくてすみません。菊池先生、本日は卓話よろしくお願ひします。●三井章義君=昨 28 日、名古屋税関長より税関行政功労者として感謝状をいただきました。●石田孝一君=明日、諏訪交響楽団のコンサートです。チケット2枚ありますのでご希望の方に差し上げます。●森幸俊君=ラッキーNo にあたって。

◆会長告知・玉本広人会長=皆さんこんにちは。

今年5月1日に「劍璽(けんじ)等継承の儀」が行われ、新天皇が即位されました。

10月から「即位礼正殿の儀」「晩さん会」「祝賀パレード」「大嘗祭」と続いた即位関連の儀式も先日より行われております伊勢神宮と歴代天皇陵を参拝される「親謁(しんえつ)の儀」をもって主なものは終わる様です。

その間3000回例会でお世話になりました所功先生もたびたびテレビで解説などしておられましたが、その所先生が天皇の即位や儀式などの研究で優れた実績を収めたとして、「第7回日本学賞」を受賞されました。日本学賞は日本文化の優れた研究を対象としており、元号令和の考案者とされる日本文学者の中西進氏が理事長を務める日本学基金より授与されるものです。祝意を表します。

所先生にお会いしました時に所先生が中心になって編纂された「皇室辞典」という本をいただきました。「制度と歴史」「文化と生活」の2冊に分かれていて、皇室の様々な儀式や宗教文化などあらゆる事柄を網羅しており、どちらも500ページを超えるまさに皇室についての辞典です。

少しづつ読み進めておりますが、まだ4分の一ほどしか進んでおりません。

今回の一連の即位行事の一番最初である「劍璽(けんじ)等継承の儀」において皇位継承の証として継承される三種の神器について所先生が書かれておりました。

三種の神器は皇祖天照大神から皇孫に授けられたと伝えられている神宝で、八咫鏡(やたのかがみ)天叢雲劍(あめのむらくものつるぎ)と、八咫瓊勾玉(やさかにのまがたま)をいいます。それぞれの由来については、伊藤武利さんが会長告知で神話の話をしていただく中でお話をされていたと思いますので省きます。

本来のものは、鏡は伊勢神宮に劍は熱田神宮にご祭神の御霊代として祀られております。第10代崇神天皇のころに劍と鏡は代わりのものを作り宮中におき、勾玉のみ古来のものが宮中にあります。その劍と勾玉は、源平の合戦で建礼門院徳子が幼い安徳天皇を抱いて劍、勾玉と共に入水したのでいったん海中に消えました。箱入りの勾玉は幸い浮かび上がってきましたが、劍は海底深く沈んだのか見つかりませんでした。そこですでに伊勢神宮から後白河法皇に献上されていた蒔絵の劍があったのでそれを宝劍として用いることにしたとのことでした。

以前平家物語を読んだときに、三種の神器のうち天叢雲劍(あめのむらくものつるぎ)が安徳天皇と共に海に沈んでしまったのであれば、今伝わっているものは偽物かあるいは箱のみかなどと疑問に思ったことがありましたが、もともと無くなった劍は「形代」とよばれる神器に準ずるものだったという事でこの疑問も解けました。

あとこれは所先生が書かれた話ではありませんが、三種の神器に対する相続税の話です。平成の時には相続税法12条の1に皇位継承とともに次の天皇が継承したものは非課税財産と定められているので相続税の課税対象にならなかった。前回は死亡による相続でしたが今回は生前退位に伴う贈与となり贈与税については、天皇の退位等に関する皇室典範特例法付則で非課税とすることと定められたとのことでした。三種の神器にまで相続税や贈与税の規定があることには驚きました。

ロータリーには特に3種の神器と呼ばれているものはありませんが、あえていうならロータリー旗、ゴング、会長バッチというところでしょうか。会長バッチも本物は常に金庫にしまわれているようですので、人の目に触れないという意味でも三種の神器と言えそうです。

◆幹事報告・小口泰幸副幹事=本日、山田幹事が出張のため代理にて報告します。本日はプログラム委員会担

当のクラブフォーラムで、菊池会員による卓話です。よろしくお願ひします。次回 12 月 6 日の例会は、プログラム委員会担当のクラブフォーラムです。石田、宮坂会員による、2019 年を振り返ってという内容です。お二人にはよろしくお願ひします。また次回例会終了後に定例理事会があります。理事会にて次年度の理事を上程することになっています。それまで就任の交渉をすることになりますがお声がかかった方はぜひお引き受けください。

◆委員会報告

●親睦委員会・竹上幸浩委員＝1 点目は、忘年例会についてです。日程は 12 月 20 日（金）で 18 時に点鐘、17:30 に受付開始です。場所はぬのはんです。例年通りプレゼント交換をしますので、お一人 1000 円程度でご持参ください。2 点目は、先日、諏訪商工会議所の議員改正がありました。議員になられた方はぜひニコニコ BOX のご利用をお願いします。

●青少年奉仕委員会・五味武嗣委員長＝ロータアクトクラブから諏訪湖のごみ拾いの案内が来ています。もともと 10 月の諏訪湖マラソン前の予定でしたが雨天のため中止となり、12 月 15 日（日）に再度企画されました。13:00 開始、集合場所は諏訪湖ヨットハーバーです。参加される方は、諏訪ロータアクトクラブの玉本様まで連絡願ひします。

◆クラブフォーラム プログラム委員会・飯田兼光副委員長＝本日は、きくち泌尿器科クリニックの菊池先生からお話しいたします。2008 年に開院されて、2017 年に当クラブに入会されました。経歴等の詳細については、卓話の中でお話しいたきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

●会員卓話・菊池俊樹会員＝2017 年 7 月 7 日に諏訪ロータリークラブに入会しました、きくち泌尿器科クリニックの菊池です。新入会員卓話が済んでいなかったの、今回、お話しさせていただきます。

1) 略歴：昭和 37 年 3 月に岡谷市で出生、有名人ですと松田聖子さんの 9 日後になります。諏訪清陵高校卒業から、秋田大学入学・卒業、医師国家試験合格はストレートで進んでいますが、実は高校卒業に 4 年間掛かっていました。高校入学時の健康診断で蛋白尿を指摘され、5 月の連休明けから岡谷塩嶺病院（現岡谷市看護専門学校）に入院となり、出席日数不足で 1 年留年しました。現在の研修医制度のなかった時代は、医学部卒業後は大学医局に入るのが一般的でした。医学部 5 年時に諏訪清陵高校

59 回生の小山研二先生が、東北大学第一外科助教授から秋田大学医学部外科学第一教室の第三代教授として赴任してきました。それまでは入院の原因となった腎臓病に携わる分野へ進みたい考えでいましたが、小山教授の熱意と人柄に惹かれ、消化器外科医として働く決意を持って医師人生をスタートしました。大学院も修了し、医学博士を授与され、オランダライデン大学に留学もさせて頂きました。また礼文島での離島診療も経験しました。1999 年 7 の月にノストラダムスの大予言とは無関係に、18 年間過ごした秋田を離れ、初志の腎臓に関わる仕事をしたいと信州大学泌尿器科学教室に、専門分野を変更して入局しました。当時の西澤教授が秋田大学の学生時代から知古の先生であり、それを伝手に信州に帰ってきました。しかし、外様ですので自分の思い描く病院勤務医には成れず、理想を目指して 2008 年 7 月 10 日に開院となっています。地球環境への配慮として、Pure EV (BMW i3) や砂利敷の駐車場などを行っています。



2) ポルシェクラブジャパン：ポルシェクラブは単一のドライバーズクラブとしては、世界最大のものです。世界中に 18 万人を越すメンバーがおり、ツーリング、走行会や懇親会などの企画運営を中心に活動しています。ポルシェのオーナーなら、どなたでも参加できます。ポルシェクラブは現在全国で 27 の支部がそれぞれで活動しており、松本支部は 26 番目の比較的新しい設立です。2 年に一度のポルシェクラブ ジャパンが開催するポルシェクラブ会員のための祭典「ポルシェパレードイン鈴

鹿」が有名です。鈴鹿サーキットフルコースでのサーキット走行、レーシングドライバーの同乗体験走行、支部ごとに施すデカールデザイン コンクール、ディナーパーティーなどが行われ、最終日に行われるおよそ 270 台の様々なポルシェによるパレードランは圧巻です。松本支部では 9 月 8 日には東部湯の丸 SA に集合し、高峰高原・懐古園のツーリング、10 月 17 日にサーキットイベントを行っています。

3) サーキットの狼：サーキットの狼は池沢さとし先生が昭和 50 年から昭和 54 年にかけて週刊少年ジャンプに連載した漫画作品で、近年「サーキットの狼世代」をターゲットにした雑誌での特集も組まれており、会員の皆様の中にも狼世代がいらっしゃると思います。愛車ロータスヨーロッパを駆る主人公の風吹裕矢が、一匹狼の走り屋から始まり、公道やサーキットを舞台にライバル達との競争を繰り広げ、プロレーサーへと成長していく物語です。ライバルとして早瀬左近のポルシェや沖田のフェラーリ、ハマの黒ヒョウのランボルギーニカウンタックなど、世界中の著名なスポーツカーが多数登場し、所謂スーパーカーブームの火付け役となっています。ブームから 30 年以上経つ現在も関連グッズの発売が続いており、2009 年には当時の実車や漫画、スーパーカー消しゴム等のグッズを展示した「サーキットの狼ミュージアム」が茨城県神栖市にオープンし、いつかは行ってみたいと思っています。

4) 富士スピードウェイ：富士スピードウェイ (FSW) は 50 年以上の歴史あるサーキットでストレートの長さは 1,475m と世界的に見ても、とても長いホームストレートがあり、天気の良い日には、北西に日本が誇る富士山が一望できる美しいサーキットです。10 月 17 日には松本支部で、サーキット 1 時間貸し切りのイベントを行いました。先日 SBC ラジオ・Gendy のスワンダフルという番組で Gendy さんを相手にサーキットの狼の話を出したのはここに繋がるわけで、ホームストレートでは 260km/h 出ると喋っています。サーキットでの事故は相手側が 100%悪くても、自分の車の修理は自分で負担するという究極の自己責任の場とも云われています。サーキット走行は対向車もなく比較的安全ですが、自己責任を全うするにはそれなりの努力も必要となり、個人的には FSW の駐車場でのトレーニングで、ブレーキング・アクセルワーク・ハンドル操作をプロドライバーから指導を受けスキルを磨いています。供覧しました車載映像は、

プロドライバーによる同乗走行で、ブレーキ、ハンドル操作、アクセルワーク、目線などの指導を実際の走行中にレクチャーして貰っています。最後のスライド 2 枚は先日の雨中での松本支部サーキット走行会の集合写真です。皆様のお知り合いの方も数名います。オーダーメイドのレーシングスーツもお揃いで作っています。ポルシェクラブやサーキット走行にご興味のある方は一声かけて下さい。ご清聴有難うございました。

◆今後の例会日程

12 月 6 日	金	クラブフォーラム (2019 年を振り返って)
12 月 13 日	金	クラブ協議会 (年次総会)
12 月 20 日	金	家族例会 (忘年例会)